

収蔵資料の燻蒸くんじょう

7月、久留米文化財収蔵館などの資料保管施設で燻蒸を行いました。燻蒸は、気体の薬剤を用い、文化財に害を及ぼす虫を駆除するものです。大切な収蔵資料を守るため、定期的の実施しています。

久留米市文化財収蔵資料審議会

本市の附属機関の一つで、収蔵資料の収集に関する調査・審議や保存活用に対する指導助言を受けるため、年1回程度、開催しているものです。本年度は、12月5日(金)にエーるピア久留米を会場に開催しました。事務局より令和6・7年度の報告を行い、各委員から補修資料の内容や展示会の成果などに関する質問・意見が出されました。当日の配布資料や議事録は、市ホームページで公開しています。



審議会の様子

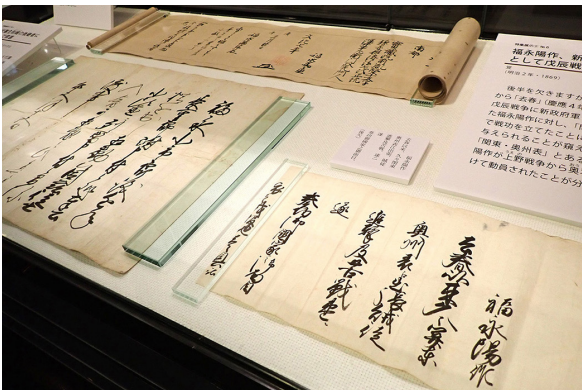


有馬記念館で

久留米市の新収蔵資料を初公開

令和8年1月24日(土)から4月6日(月)まで、有馬記念館の平常展会場内で、令和7年度特集展示③「新出資料 久留米藩士福永家資料」が開催されています。これは、令和7年2月25日付けで本市が寄贈を受けた福永家資料のうち、同家の系譜、武術免許状、戊辰戦争の従軍日記、久留米城下町の絵図など、10点を初公開するものです。本展については、有馬記念館公式ホームページで紹介しています。

なお、福永家資料については、本紙2ページにも紹介しています。



特集展示③「新出資料 久留米藩士福永家資料」会場



寄贈相談のご案内

本市ホームページ上に「歴史資料の寄贈について」を掲載し、歴史資料の事例や寄贈の手続き方法などについてご案内しています。

ご自宅の整理で、古い物の取扱いに迷われた際など、ご参考にしていただけますと幸いです。



久留米文化財収蔵館と

久留米市埋蔵文化財センター

いずれも久留米市民文化財保護課の所管施設で、エーるピア久留米(諏訪野町)敷地内に所在します。文化財の中でも、前者は地上に残されてきたもの、後者は地下から掘り出されたものを、主に取り扱っています。

両施設とも、学校の社会科や「くくるめ学」の調べ学習に関するお問い合わせにも対応しています。閲覧・撮影・掲載等の申請は、事前にご相談ください。特に、埋蔵文化財センターには、常設展示室を開設しています。入館無料です。

各施設の開館時間等については、市ホームページでご確認ください。



久留米文化財収蔵館



久留米市埋蔵文化財センター

【編集後記】

数年ぶりに、本紙の編集を担当しました。この間、久留米市では全庁的な印刷製本費削減の取組が始まり、広報や情報発信の媒体は紙から電子(市ホームページ掲載)へと移行が進んでいる最中です。そのような事情で、本紙も前号の12ページから8ページに縮小することとなりました。

収蔵資料の保存活用は、多岐にわたります。今回、紙面に収まりきれなかった内容は、市ホームページに譲り、本紙にはそれぞれQRコードを掲載しています。紙と電子のハイブリッドで「収蔵館ニュース」をどのように展開していけばよいのか、今後さらに試行錯誤が続きます。

『収蔵館ニュース』第22号

発行年月日 令和8年3月31日
編集・発行 久留米市 市民文化財保護課
久留米文化財収蔵館
〒830-0037
福岡県久留米市諏訪野町1830-6
電話・FAX 0942-38-6194
E-mail bunkazai@city.kurume.lg.jp



『収蔵館ニュース』のバックナンバーの一部は、久留米市公式ホームページでもご覧いただけます。